

◆2025年8月の新刊

日本キリスト教団出版局

20世紀を代表する霊的指導者ナウエンによるキリスト教入門、初邦訳！

ナウエン・セレクション 《第7回配本》

新しい生き方 イエスについての七つの手紙

ヘンリ・ナウエン 著

1932年、オランダ生まれ。1957年、カトリック司祭に叙階される。心理学を学んだ後、イェール大学、ハーバード大学で教鞭を執り、執筆活動を行う。1986年、カナダのラルシュ共同体に移住、ハンディキャップを持つ人々と生活を共にする。1996年、心臓発作により死去。

わたなべじゅんこ

渡辺順子 訳 翻訳家

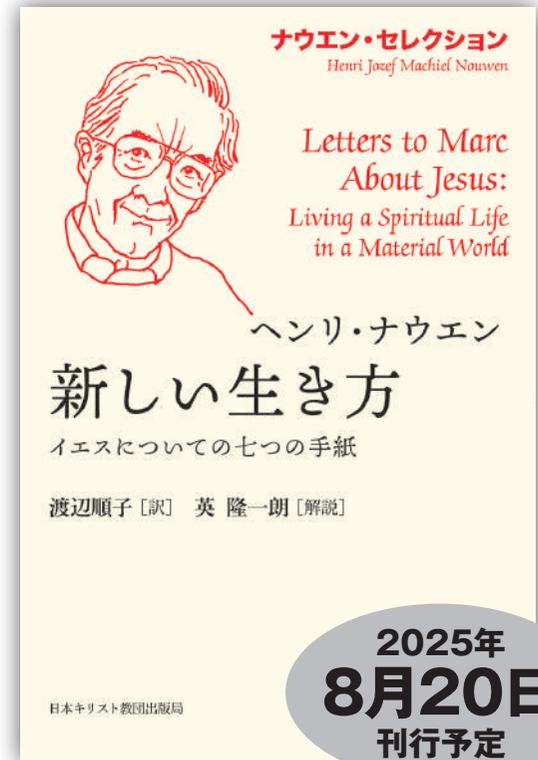
はなふさ りゅういちろう

英隆一朗 解説 イエズス会司祭

ナウエンらしい、わかりやすさと深さを兼ね備えた、キリスト教入門の名著。現代の私たちにとって、イエス・キリストとは誰か、信仰生活とは何かを、手紙の形で丁寧に説き明かす。長年教会生活を送ってきた方も、キリスト教は初めてという方も、ぜひどうぞ。

四六判・並製・160頁・定価2,200円（本体2,000円＋税）

ISBN978-4-8184-1202-6 C0016



シリーズ
好評発売中

『今日のパン、明日の糧 暮らしにいのちを吹きこむ366のことば』 定価2,640円 『アダム 神の愛する子』 定価2,200円
『死を友として生きる 「最大の贈り物」 & 「鏡の向こう」』 定価2,420円 『傷ついた癒やし人 新版』 定価1,980円
『古い 人生の完成へ』 ウォルター・ガフニー共著 定価1,980円 『平和の種をまく 祈り、抵抗、共同体』 定価2,420円

◆2025年8月の新刊

日本キリスト教団出版局

イエスの死の意味

旧約の犠牲祭儀から読み直す



2025年
8月20日
刊行予定

日本キリスト教団出版局

C.A.エバハルト 著

ヒューストン大学比較文化研究学部教授、同学部の宗教研究科長。儀礼、和解および

贖いの概念、聖書本文および写本、第二神殿期ユダヤ教文献および文化、聖書解釈史、クムラン文書断片／死海文書、聖書考古学および地形学、初期キリスト教文書、宗教間対話などに関する研究多数。

かわのかつや

河野克也 訳

1965年愛媛県生まれ。東京神学大学特任准教授。日本ホーリネス教団中山キリスト教会牧師。国際基督教大学修了、東京聖書学院修了、神戸ルーテル神学校修了(M. Div.)、合同メノナイト聖書神学校修了(M.A.)、デューク大学神学部修了(Th. M.)、サザン・メソジスト大学大学院博士課程満期退学。新約聖書学専攻。

イエスの「贖い」を理解するカギは、 旧約の犠牲祭儀だ！

教会ではイエスの死は「贖い」であったと語られる。では、神は自らの子を犠牲として自分に献げさせたのだろうか？「贖い」に関する疑問を、旧約の犠牲祭儀を手がかりに鮮やかに解きあかす快作。

本書を読まずに「贖い」は語れない！

A5判・並製・160頁・定価3,300円（本体3,000円＋税）

ISBN978-4-8184-1203-3 C3016

◆2025年8月の新刊

日本キリスト教団出版局

平和を受け継ぐ者に

戦争証言・使命・祈り

おくだともし
奥田知志 編

1963年滋賀県生まれ。日本バプテスト連盟東八幡キリスト教会牧師、認定NPO法人抱樸理事長、公益財団法人共生地域創造財団、ホームレス支援全国ネットワーク、生活困窮者自立支援全国ネットワーク、全国居住支援法人協議会などの代表を務める。

世界各地で起きている戦争、紛争。もはや戦後でない今日を私たちは生きている。広島、長崎、沖縄、引き揚げ、本土空襲、宗教弾圧……。月刊誌『信徒の友』に掲載された戦争体験者のこれらの証言、平和への思いをどう読み、応え、歩み出すか。“戦後80年”の今、共に考えたい。

四六判・並製・144頁・定価1,650円（本体1,500円+税）

ISBN978-4-8184-1206-4 C0036

目次

プロローグ

聖書が語るシャロームにどう聴くか……大島 力

1章 広島 原子野から立ち上がる

生かされた者の使命……長谷川 儀

過ちを繰り返さない……宗藤尚三（聞き手：月下星志）

封印してきた記憶……谷川順子

被爆教会の役割……向井希夫

2章 長崎 平和の鐘を鳴らし続ける

長崎被爆者座談会……光木倭子、松尾絹江、福島順子

核に思う……松本 正

平和の母子像にかけた思い……熊江雅子

3章 沖縄 キリスト者として生き抜く

他者の痛みと向き合えるように

……石原絹子（聞き手：西村愛里）

沖縄のキリスト教会は前進する……平良 修

首相官邸前でゴスペルを歌う会……平良愛香

祈りと犠牲を捧げる全国のシスター……上原洋子

4章 引き揚げ いのちの旅路

北朝鮮に取り残されて……笠井政子

ソ連軍侵攻の樺太から引き揚げ……高橋淳子

朝鮮の京城で生まれて……増田良夫

満洲から引き揚げて……三田照子（聞き手：鈴木道也）

5章 国内 銃後の守りの陰で

誰もが憧れていた……岩崎誠哉

戦地を思って辛抱の日々……清水幸子

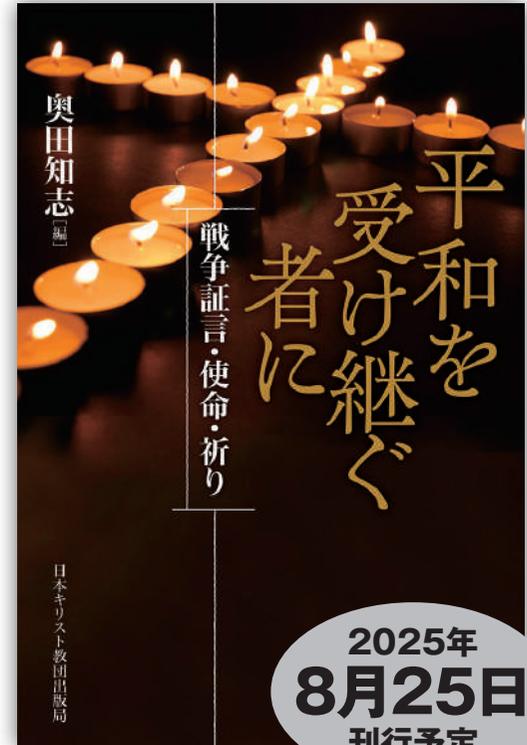
何の跡形もなく……小林義弘

信ずべきもの……村松武司

平和を祈るリタニー……東 歩

エピローグ

主イエスの非暴力主義……志村 真





静寂の地へ

キリスト教的観想の実践ガイド

マーティン・レアード 著 柳田洋夫 訳



心身の病や孤独、人生の後悔や不安に悩むとき、
観想はどのように助けとなるか？

キリスト教の聖人や賢人の残した多くの言葉をたどりつつ、
私たちが心の奥深くで神と交わり、自らを受け入れ、他者との
交わりへと開かれていく道を教える。

教皇レオ14世を輩出したピラノバ大学教授であり、アメリカ、イギリス、アイルランド
など英語圏の国々、フランスや韓国でも今、最も広く読まれている指導者の著書の
待望の邦訳！

- 著者紹介** マーティン・レアード (Martin Laird) 1959年、アメリカ合衆国オクラホマ州生まれ。アウグスチノ修道会聖職者・神学者、ピラノバ大学教授。初期キリスト教研究を専門としつつ、古代の祈りと観想の伝統による観想指導や講演活動に携わっている。
著書 本書の続編である *A Sunlit Absence: Silence, Awareness, and Contemplation* (2011), *An Ocean of Light: Contemplation, Transformation, and Liberation* (2018) など、観想の実践指導に関する著書多数。
- 訳者紹介** 柳田洋夫 聖学院大学大学院アメリカ・ヨーロッパ文化学研究所博士後期課程修了。博士(学術)。聖学院大学人文学部教授。
著書 『「心の教育」実践体系6 芸術・宗教に学ぶ心の教育』(共著、日本図書センター、1999年)。
訳書 C.E. ガントン『説教によるキリスト教教理』(教文館、2007年)、R. ニューバー『悲劇を越えて』(共訳、教文館、2022年)、C.E. ガントン『キリスト教信仰』(教文館、2024年)、主教カリストス・ウェア『イエスへの祈り』(新教出版社、2025年)ほか多数。

四六判・並製・238頁・定価 3,960円 (本体 3,600円+税) ISBN978-4-7642-6766-4 C0016

新教出版社 新刊 2025年8月25日発売

マルティン・ニーメラー

ヒトラーに逆らった牧師

四六判・上製・400頁・本体4000円（税込定価4400円）
ISBN 978-4-400-21347-5 C1023

マシュー・ハケネス [著] / 穂田信子 [訳]



Uボートの艦長から愛国主義的な牧師へ、
ナチ党支持者から強制収容所の囚人へ、
教会改革の指導者から平和運動の旗手へ、その激動の生涯！

「はじめに彼らは共産黨員に向かってきたが、私は声を上げなかった——共産黨員ではなかったから。つぎに彼らは労働組合員に向かってきたが、私は声を上げなかった——労働組合員ではなかったから。それから彼らはユダヤ人に向かってきたが、私は声を上げなかった——ユダヤ人ではなかったから。そして彼らが私に向かってきたとき、私のために声を上げてくれる人はひとりも残っていなかった」

この有名な言葉を残したニーメラーは、最初からリベラルな平和主義者なのではなかった。アメリカの気鋭の歴史家が、保守的な思想の持主であったニーメラーがいかにして自己変革を遂げていったかを、聖人視を排して史的・批判的に辿った最新の評伝。

【著者】マシュー・ハケネス（Matthew D. Hockenos）は1966年生まれ、ニューヨーク大学で学位を取得、現在スキッドモア・カレッジで歴史学を講じる。専門はナチ時代および戦後期のドイツ・プロテスタント教会史。

【目次より】

- 第1章 神と共に王と祖国のため（一八九二年～一九一四年）
- 第2章 大洋において皇帝に仕える（一九一四年～一九一八年）
- 第3章 Uボートから説教壇へ（一九一八年～一九三三年）
- 第4章 神とヒトラーを信じて（一九三三年）
- 第5章 闘う牧師（一九三四年～一九三七年）
- 第6章 ヒトラーの私的囚人（一九三七年～一九四五年）
- 第7章 罪責、悔悟、再生（一九四五年～一九四六年）
- 第8章 全米講演旅行（一九四六年～一九四七年）
- 第9章 剣を打ち直して鋤とし（一九四七年～一九五六年）
- 第10章 神の特使（一九五六年～一九八四年）

天上の友【第五編】

編者：全国同信伝道会

日本の伝道を担い、いまは「天上の友」となった
134名の先人たちの働きを思い起こす。



このたび、全国同信伝道会では、会衆主義教会の伝統と精神を受け継ぐ諸教会・伝道所をはじめキリスト教関係学校や関係施設・諸団体に仕え、その生涯をささげた教師、また、その働きに準ずる方々の足跡と働きを記録する『天上の友』第五編を発行することになりました。……今回の第五編は10年ぶりの発刊となります。この間に、130名余の教師や働き人が天に召されました。その尊い生涯を心に刻みながら、何よりもまず、その方々の背後で働いた主の業を讃えたいと存じます。(序文より)

本文掲載人名

愛川照子/青木敬和/秋野勉/新井克己/嵐護/池田鮮/池田隆夫/石川和夫/石川兼子/石川富士夫/石田正弘/井殿園/糸井國雄/伊藤朗/井上孝仁/今井鎮雄/今井敬隆/岩井健作/岩橋田鶴子/岩本二郎/上野淳/上野光隆/後宮俊夫/宇野進/宇野政勝/江守秀夫/遠藤勇/扇田幹夫/大城鉄也/大澤正司/大津健一/大橋弘/小笠原浩方/緒方純雄/岡山孝太郎/越智常雄/小野一郎/笠原芳光/柏木和宣/片岡健吉/加藤和正/川上潔/河村達也/岸本和世/北垣俊一/北里秀郎/金信煥/木村量好/木村知己/木安透/小池基信/小暮光司/近藤十郎/佐伯昌祥/酒井哲雄/阪田吾郎/作田和夫/笹田実/佐藤與紀/塩見耕讀/芳賀康祐/清水昭/鈴木敏/澄田健一郎/世良田元/芹野俊郎/田井中純作/高井清/高塚勝/高見敏雄/高道基/多藝正之/武市有信/竹内宙/田中久雄/谷田禎造/種谷俊一/丹誠/崔忠植/寺崎暹/寺田利/中島淳/中嶋剛/中野泰治/中村武/中村次郎/中村博/中村幸久/中山月夫/西田晃/西村幸郎/野波洋/延原時行/野本真也/野本益世/橋原正彦/橋本左内/原忠和/原田昭/東岡山治/飛田悦子/平居讓/平田久/平松潔/平山武秀/深田未来生/府上征三/福井達雨/福井幸夫/藤岡友幸/藤原史郎/松井愛美/松井初/萬代愼逸/宮内教司/宮川經裕/村上銑彌/桃井綾子/桃井完二/森田進/森脇忠雄/矢崎邦彦/矢野一郎/矢吹一夫/山本栄美子/山本爽起子/山本文雄/横田満朗/米田孝/若月健悟/脇本寿/渡辺泉/渡邊聖一/渡辺敏雄

世界音楽の旅

オルガニスト児玉麻里の教会巡行録

児玉 麻里◎著



ヨーロッパからアフリカ、南米まで

オルガニストとして世界中に招かれ演奏を披露してきたカトリック信徒の著者が、80年代～2000年代にかけて「キリスト新聞」「カトリック新聞」「カトリック生活」「聖母の騎士」で連載したエッセイ全80編を再録。

著者

児玉 麻里(こだま・まり)

アメリカ・ギルド・オブ・オルガニスト(シカゴ)。芸術学修士、作曲家、国際オルガニスト。シカゴとドイツでキリスト教と宗教音楽を学ぶ。オルガン音楽を通して世界の平和、社会との繋がり、ボランティア活動などを行い、各国の作曲家の生誕記念祭、各国の音楽祭、日本との交流年行事など、1年に10カ月は海外で演奏。これまで世界350都市で演奏を行う。1991年、日本において国際オルガン祭「インターナショナル オルガンフェスティバル」を、1995年にはオルガンとサウンド・オブ・ピースを立ち上げ、さまざまな楽器とのコラボレーションを作り企画・構成・作曲をオリジナルに創作して、新舞台芸術をもって世界を廻っている。デパートで料理教室を継続開催したり、海外からの絵画展を、日本全国に展開したり、国内外において、音楽、教育、歴史のテーマをもって講演活動などを行う。

8月10日刊行予定



神田外語大学大学院言語科学研究科教授／キリストの平和教会牧師

岩本遠億

ルカの福音書説教集 3

ほんとうの自分に出会うとき

今、さまざまな辛さや生きづらさを覚えている人への
慰めと励まし、神さまが注がれる力！ (和紙ちぎり絵作者・森住ゆき)

……救いとは何ですか。それは、神に見出され、神に出会うことです。その出会いは、一人ひとり違う。しかし、その時に自分ではない自分が現れ出ます。それまでこれが自分だと思ってきたものとは全く異なる、真の自分が立ち上がるのです。……イエス様に出会ったときに、これが自分と思っていたものが、本当の自分ではないということを彼は知ったのです。(本文より)



- 感謝されない理由 ルカの福音書第 17 章 1～10 節
 あなたはここに帰れる ルカの福音書第 17 章 11～19 節
 イエスは祈りを回復する ルカの福音書第 18 章 1～14 節
 信じるのに理由はいらない ルカの福音書第 18 章 15～17 節
 神は見捨てず導く ルカの福音書第 18 章 18～30 節
 キリストは実存の叫びに答える ルカの福音書第 18 章 35～43 節
 キリストはあなたの孤独の中へ ルカの福音書第 19 章 1～10 節
 あなたの王は誰か？ ルカの福音書第 19 章 28～40 節
 神があなたを訪れる時 ルカの福音書第 15 章 41～48 節
 聖霊が与える権威に生きる ルカの福音書第 20 章 1～8 節
 神のものを神のものとするために
 ルカの福音書第 20 章 20～26 節
 神は、私たちが死んでも私たちを生かす
 ルカの福音書第 20 章 27～39 節



好評発売中
新書判・216 頁
1,320 円



好評発売中
新書判・200 頁
1,320 円



在庫僅少
46 判上製・264 頁
1,980 円



9 版出来！
A5 判変型上製
344 頁・1,980 円

著者略歴：岩本遠億 (いわもと・えのく)

1959 年名古屋生まれ。東京学芸大学、国際基督教大学大学院を経て、オーストラリア国立大学博士課程修了。言語学博士。神田外語大学大学院言語科学研究科教授。キリストの平和教会牧師。1988 年～1989 年、1990 年パプア・ニューギニア伝道。2001 年イエス・キリスト教会 (単立) の牧師に任職される。2003 年 11 月ミッション・エイド・フェロシップ聖書教師。2006 年 8 月「キリストの平和教会」を立ち上げる。

著書：『神はあなたの真の願いに答える - ルカの福音書 1』(2023 年) 『聖霊の上昇気流 神は見捨てなかった』(2022 年) 『366 日元気が出る聖書のことば あなたはひとりではない』(2020 年、2024 年、以上ヨベル)、『元気の出る聖書のことば 神さまの宝もの』(2009 年)、『元気の出る聖書のことば 神さまは見捨てない』(2010 年、以上いのちのことば社)、『Linguistics: In Search of the Human Mind』[編] (開拓社、1999 年)、『事象アスペクト論』(開拓社、2008 年) 他。 e-mail: enoch.iwamoto@gmail.com



竹田純郎 [著]
(金城学院大学名誉教授)

技術時代における宗教、 キリスト教

9月10日刊行予定

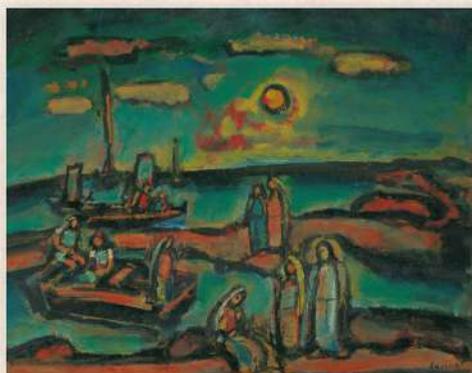
ただ巻き込まれるのか。抗する道はあるのか。

現代世界を覆い尽くす数々の戦争や侵略行為は、既存の宗教によって正当化されて留まるところを知らず、人も自然も滅びの瀬戸際に立たされている。ハイデガーが「総駆り立て体制」と呼んだ、現代の技術時代という歯車の中で、キリスト教はそれに抗する道を開けるのか。武田泰淳、S・ヴェイユ、D・ボンヘッファーからルオーの絵画「キリストと漁夫たち」へと至る深い思索からその活路を鮮やかに描き出す。

ジョルジュ・ルオーの名作「キリストと漁夫たち」に込められたメッセージを現代に読み解く！

ルオーが宗教的風景画において描いた「いつも場末にいるキリスト」は、現代文明の矛盾のすべてを一身に背負い込んだ最も弱く小さな人びとの苦悩を共に分かちもつ存在を表わしている。その画像は、神なるものと自然なるものとの和解を示唆することによって、人間存在と、一切を有用性で量ってしまう現代世界に潜む矛盾、すなわち人間と自然を利用可能なものへと征服し尽くす矛盾に警鐘乱打したものである。(本書より)

技術時代における宗教、
キリスト教 竹田純郎 [著]



YOBEL Inc.

- 序 本書は、なにを問うのか
- 第一章 カニバリズム 武田泰淳の文学作品に即して
- 第二章 ナルシシズム
- 第三章 オリエンタリズムの彼方 シモーヌ・ヴェイユに即して

- 第四章 責任倫理 D・ボンヘッファーに即して
- 第五章 技術時代における宗教、キリスト教
- 終章 いつも場末にいるキリスト

竹田 純郎 (たけだ・すみお)

1945年伊勢市に生まれる。東北大学大学院文学研究科哲学専攻博士課程中退。Ph.D (ドイツ・チュービンゲン大学)。金沢大学助教授、立教大学助教授、金城学院大学教授を経て、現在、金城学院大学名誉教授。

著書:『生きることの解釈学』(勁草書房、1994年)『テキストと解釈』(共著 岩波書店、1994年)、『生命の哲学』(ナカニシヤ出版、2000年)、『モダンという時代』(法政大学出版局、2007年)、『生命の宗教 キリスト教』(リトン、2017年)等。

訳書等: R・ブブナー『現代哲学の戦略』(共訳、勁草書房、1986年)、編集校閲『ディルタイ全集』第4巻、第9巻、第10巻(法政大学出版局、2010年、2014年、2016年)。

A5判・216頁・予価2,200円(税込)

ISBN978-4-911054-66-6 C0016 本体予価2,000円+税

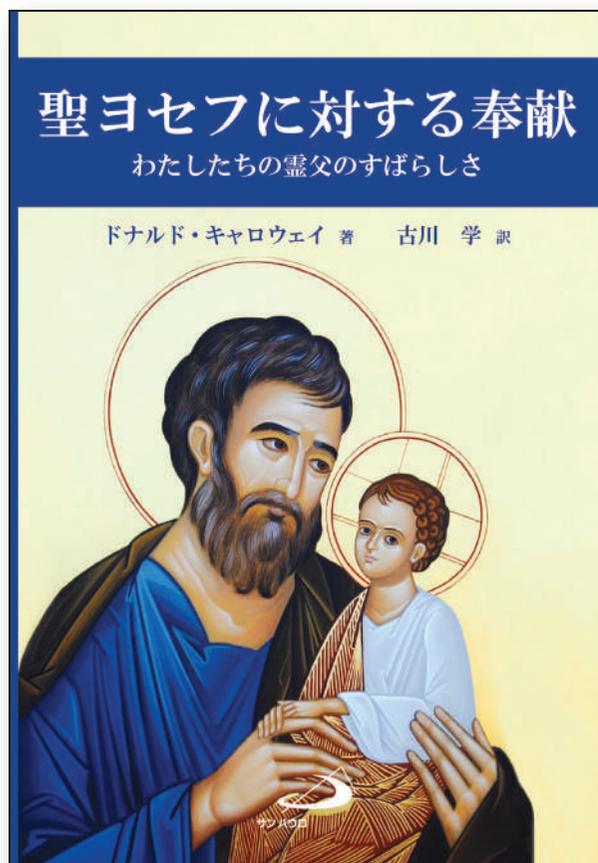
8月1日(金)発売予定

 **サンパウロ** 新刊案内

聖ヨセフに対する奉獻

わたしたちの霊父のすばらしさ

ドナルド・キャロウェイ 著 古川 学 訳



神の母マリアの清い夫、イエスの養父であったヨセフが、聖書に登場するのは、イエス・キリストの幼年期だけである。またヨセフは、聖家族の守護者であったばかりでなく、教会の守護者でもあり、私たちの霊的な父親でもある。本書は、そのようなヨセフに関する読書、連願の祈りがつづられた 33 日間の黙想書である。



『聖ヨセフ』(1888年)
フランチェスコ・グランディ画

著者 **ドナルド・キャロウェイ**
(聖マリアの無原罪司祭会)

オハイオ州スチューベンビルSteubenvilleのフランシスカン大学で哲学と神学の学士を取得。ワシントン D. C. のドミニコ会研究所で神学修士と教皇庁認可神学修士を取得。オハイオ州デイトンの国際マリア研究所でマリア学の教皇庁認可神学修士を取得。本書の他、多くの著書がある。

訳者 **古川 学** (ふるかわ まなぶ)

翻訳家、声楽家、公認心理師。

東京藝術大学音楽学部卒業。

エリザベト音楽大学大学院修了。

元エリザベト音楽大学講師。

訳書

『教皇フランシスコに聞く 召命の力—今日の奉獻生活』(2020)、『社会の中で虐げられている人たちから学んだ—タグレ枢機卿の人生、そして希望—』(2022) (サンパウロ)。

• A5判 • 404頁 • 並製 • 定価 4,400円 (本体4,000円+税) • ISBN978-4-8056-0437-7 C0016

7月30日(水)発売予定

 サンパウロ 新刊案内

2025年 サンパウロが贈るクリスマス絵本

クリスマスのほしが ひかったよ

え・ぶん つるみ ゆき



おなかをすかせた、嫌われもののジャッカルが、
けがをして、うまく飛べない小鳥のロビンをねらっています。
するとロビンは、光り輝く一つの星を見ながら、ジャッカルに言いました。
「わたし、あのほしのところへいきたいの。
それがかなったら、わたしをたべてもいいわ」。
その願いを聞き入れたジャッカルと、ロビンの不思議な旅が始まります。

著者紹介

つるみ ゆき

東京生まれ。東京学芸大学美術科卒。日本児童
出版美術家連盟会員、日本捜索救助犬協会会員。

著書

『ふしぎなオルゴール』『ゆうやけいろのくま』
(至光社)、他。

『もりのせいいたい』『みんなのせいげき』
『どろぼうとこねこのクリスマス』『もりのせいいたい
とクリスマスのよろこび』(サンパウロ)。

•タテ180×ヨコ167 •上製 •28頁 •定価1,210円 (本体 1,100円+税) •ISBN978-4-8056-2625-2 C8716

より見やすい大判サイズ
新たな内容も加わり充実！



【改訂新版】

カラー新聖書 ガイドブック

30以上の言語に翻訳され、300万部以上を発行したロングセラー聖書ガイドの、待望の改訂新版。レイアウトを一新し、新しい写真が100点以上、新しいコラムが9つ追加された。時代的背景から今日的問題まで、聖書の世界をさまざまな角度から考察する。

本書の特徴

- ▼創世記から黙示録まで、聖書の概要を解説。
- ▼各界の専門家が執筆した150以上のコラムを収録。
- ▼写真、イラストを700点以上掲載。
- ▼70点以上の地図、20点以上の図表を随所に配置。
- ▼巻末に詳細な索引を掲載。

234×189ミリ 上製 800頁
定価7,700円(本体7,000円+税)
ISBN978-4-264-04585-4 C0016
いのちのことば社卸コード 00015

ゲーテンベルクの ひみつの扉

あずみ 椋 マンガ

15世紀、ドイツ・マインツ市。修道士見習いの少年マルティンは、謎めいた印刷職人ゲーテンベルクと出会い、“書き写す”だけだった聖書が“刷られる”という前代未聞の計画に巻き込まれていく。知識を誰もが手にできる未来を信じて、少年と師が挑む、かつてない冒険。

月刊『らみい』掲載の「チボリの不思議な夜」「MISSION!」「ノンニとまぶねの御子」「聖夜の客人」珠玉の4作品も併録。時をこえて心に届く、信仰と希望の物語集。



A5判 232頁 定価1,980円(本体1,800円+税)

ISBN978-4-264-04601-1 C0016

いのちのことば社卸コード 24990

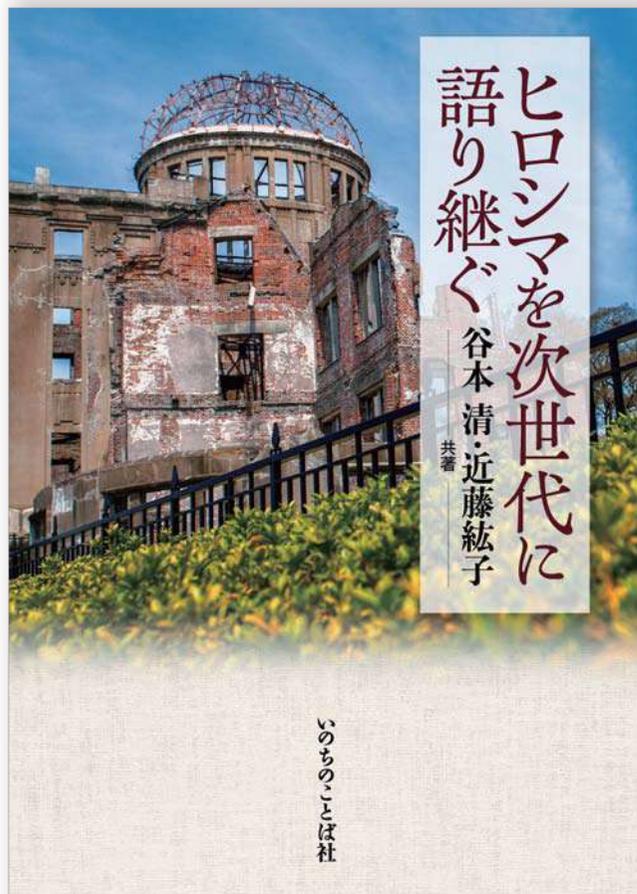
あずみ 椋 (あずみ・りょう)

東京都・新宿区出身。同人活動を経て1982年プロマンガ家デビュー。おもな作品は「緋色い剣(あかいつるぎ)」「ニーベルングの指環」「ミステリオン」「旧約聖書Ⅰ創世」「旧約聖書Ⅱ王国」「旧約聖書Ⅲ預言者」「新約聖書Ⅲ黙示録」など。



いのちのことば社 新刊案内 2025年8月発売予定

被爆・戦後80年。この時代だからこそ、
核兵器がどのようなものか、平和がいかに貴いかを伝える



ヒロシマを 次世代に語り継ぐ

谷本清、近藤紘子 共著

1945年8月6日に広島へ投下された原爆のきのこ雲の下の惨状を、若い一牧師が回顧する。瓦解した教会から奇跡的に救われたその愛娘の歩みと、やがて気づいた父親の思いを告げる。

谷本清（たにもと・きよし）

1909年6月、香川県坂出市に生まれる。1928年に香川県立坂出商業学校在学中に受洗し、同校を卒業。1929年、関西学院神学部に入學し、学生時代に大阪築港教会の伝道師となり、卒業後、渡米して1940年にアメリカ・エモリー大学大学院を修了。1941年帰国し、日本メソヂスト教会の牧師として、鹿児島県国分、加治木の諸教会、さらに日本基督教団の成立後には那覇中央教会、そして広島流川教会で奉仕する。広島流川教会では、39年間牧師として働く。ヒロシマ・ピース・センター設立者。1986年9月28日、召天。

近藤紘子（こんどう・こうこ）

1944年（昭和19年）11月、広島流川教会牧師の谷本清・チサ夫妻の長女として生まれる。被爆するも奇跡的に助かり、1963年に桜美林高校卒業後、アメリカに留学し、1966年にセンテナリー短大、1969年にアメリカン大学を卒業。世界の子どもたちとともに平和を訴える「財団法人チルドレン・アズ・ザ・ピースメーカーズ」の国際関係相談役を務め、現在、国内外で講演活動を行っている

B6判 112頁 定価1,430円(本体1,300円+税)

ISBN978-4-264-04602-8 C0016

いのちのことば社卸コード 29265